



柿崎智子さんの作品

## トモダチ

9月3日(土)に、くにたち公民館で「共生社会のマナビ/しょうがいしゃのまちのトモダチづくりをどう支える？」という講座がありました。スピーカーとして、神戸大学の津田英二さん、丹羽康子さんと一成さんが、お話をしてくれました。

津田さんは、五日制の会の立ち上がりの頃から、ボランティアとして関わって下さり、初期のくじら雲の活動に大いに協力して下さいました。今は神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授で、インクルーシブな社会に向かう教育実践をテーマに、研究や実践活動をされています。

丹羽さんが五日制の会で、古い木造の家を借りて、くじら雲の活動を始めた時のことを、津田さんは懐かしく語られ、そうした活動の始まりを、驚きをもって見たと話されました。そして、その頃から現在までの社会の移り変わりの中で、地域での支援のあり方も変わってきている。制度ができ、社会的サービスとして誰もが支援を受けられる時代になったが、生活に余裕がなくなり、人が人を呼んで繋がりの中で支援が成り立つ時代ではなくなっていることを、時代と社会の変遷に重ねて話して下さいましたのが印象的でした。丹羽さんは、自分に素直に正直に、一成さんが地域で楽しく暮らせるように活動

してただけだと語りました。

しょうがいしゃだけでなく、誰もが人との繋がりを持つことが難しくなっています。人間関係は煩わしいもの、面倒なもの、人にかかわることが怖いから、かかわりたくないという人も少なくありません。確かに人とかかわることは楽しいこともあり、怖いこともあり、辛いこともあります。だからこそ、人が人として成長していく時、自分とは違う考え方や生き方をしている人から、学ぶことも多いのではないのでしょうか。

多様性の時代といわれます。自分が、かかわらない範囲での多様性を頭では理解できても、実際に自分がかかわらねばならなくなった時に、多様性を認められるのか？その多様性とは何でもいいということでもなく、多様だからこそ、それぞれへのリスペクトが問われるのだと思います。

SNSでの繋がりが、過度になっている気がします。便利で簡単に知り合うことができます。でも、それで本当に、その人を知ることができるのか？しょうがいの有無にかかわらず、リアルな地域でのトモダチ作りを考えたいものです。

トモダチって難しい、でもありがたいものです。いいトモダチ作りたいですね。(理事長 遠藤良子)



笑顔が素敵な加藤史泰さん

12年11カ月、メゾン・ド・歩人で暮らしました。今年の誕生日を迎えていれば62歳でした。晩年は認知症を患いながらも皆と楽しく暮らしていました。

加藤さんへ  
初めて歩人に来た時、加藤さんに天成舎から道案内(途中で迷った。)されて来たね。  
途中、雪が降ってきて、加藤さん手袋してなかったから手が、かっちんこっちに冷えちゃって、私の手袋を貸してあげたら「あったかい。」って、とっても喜んでたね。  
歩人で働くようになってから、最初は右も左も分からず…加藤さんのことも、どう接していいのか本当にわからなくて悩んだこともあったけど、加藤さんが言ってくれた一言「みんないっしょだよ。」って、何度救われたか。彼は本当に優しく、あったかい人。認知症が進んで苦しかった時も、ご本人が一番辛いんです。と丹羽さんに諭されました。「みんないっしょだよ。」って、加藤さんの声が聞こえます。  
最後は本当にあつという間に逝ってしまったね。ちゃんと挨拶できなかったけど、加藤さんのユーモアセンス、お部屋に持ち込んだコーラのペットボトルを靴下で隠したり、茶目っ気たっぷりに夕ご飯に下りてきてふと見たら、口の周りいっぱいにおレオをつけていたり…、そして、とびきりの笑顔。  
ずっと忘れないよ。ありがとう、本当にお疲れ様。  
(小野)

10年ほど前、初めてGHの管理者になったのがメゾン・ド・歩人でした。そこで加藤さんと出会い、沢山の思い出を作ってきました。その中でも一番の思い出は、自転車で羽田空港まで走ったことです。

自転車が得意だった加藤さん。途中で疲れたら引き返そうと考えていましたが、加藤さんは負けん気が強く、弱音を吐きませんでした。二人で無事に空港までたどり着いたこと。そして歩人に戻った頃には、外は真っ暗になっていたことは今でも覚えています。

本当にありがとうございました！  
(山本)

とありが！



お昼寝

自分の中の思い出は、以前、五日制で確か熱海か伊豆辺りへ、泊りがけで海水浴に行った事です。とても暑い日だったのですが、海水浴を終えて旅館に戻るときに、加藤さんは疲れたのか熱々の砂浜に座ろうとしたので、急いで加藤さんを担いで、安全な場所へと移動してもらいました。

その夜、旅館の部屋が加藤さんと同じだった事もあり、就寝前に話をしていたら「ありがとう」と言ってくれた事を今でも覚えています。

(佐々木)

旧くじらハウスの玄関に入るなり、「くじら雲さんのGHに住まわせてください。一步ハウスは素晴らしい。史泰もくじら雲にお願いしたい。」(お母様代理人)  
お母様は、長い間難病と付き合いながら生活をなさっていました。お父様も病があり、史泰さんの将来を案じていましたが、心配ばかりしていても、もう母が明かす、申し出てみえました(2008年頃)。  
お母様の生活が入所施設に移られて、何回も面会に行きました。面会の帰りにお菓子を沢山持たせてくれました。史泰さんの行動変化が進み、面会場所から動けなくなると、座っていた椅子ごと出口までお連れし、そのまま車内へどうぞ！  
支援者女性2人の振り絞った対応でした。いろいろありましたね。楽しかったね！  
ありがとう！  
(丹羽)



来歩ハウスのアルバムを見ると、歩人の加藤さんの写真がありました。東京ドームへ野球観戦に行った時の写真でした。

加藤さんといえば、大の巨人ファンで、加藤さんの他にも、巨人ファンの利用者さんスタッフが多く、巨人が優勝したときは、ビールかけをしたり、祝勝会と題して食事会もしました。巨人ファンとは関係ない人も、理由をつけて食事会に参加したり(笑) 巨人ファンがきっかけで、他のグループホームの利用者さんやスタッフが集まって、交流をしたり、繋がりができたのも、加藤さんたちのおかげですね！

来歩ハウスのアルバムには、そんな思い出がたくさんつまった写真がありました。加藤さん、ありがとうございました。(川鍋)

歩人へ異動してからいろいろな思い出がありました。散歩して帰れなくなり、いつもお迎えに行ったこと。

夜勤で一緒に過ごしていると、気付いたら自分の靴下を履いていたこと。皆でイルミネーションを見に行くと、寒くて「バカヤロー！」と叫んだこと。歩人の10周年の旅行で、誕生日プレゼントを渡したとき、泣いて喜んでくれたこと。年末に、二人で回転寿司やしゃぶしゃぶを食べに行ったこと。皆が笑っていると、一緒に笑ってくれたこと。加藤さんと出会う、たくさんの忘れられない思い出ができました。支援という言葉より、一緒に過ごした時間という思いが強に残っています。最後まで力強く生き抜いた加藤さんの姿は、素晴らしかったです。(中山)



お誕生日



箱根旅行でアイスを食べてご満悦



金沢旅行でぐっすり寝ています

# お世話になりました

クリスマス会



加藤さんと思い出に残っていることは金沢旅行です。残念ながら自分は留守番だったのですが、体力的にこれが最後の旅行だろうと言われていて、いろいろシュミレーションをして、いかなる不測の事態になっても大丈夫なように、旅行会社に相談しながら準備していました。結局特に何もなく、順調にいろいろ行く事ができたそうです。

旅行後に、写真を見せてもらいました。旅行先で、誕生日をお祝いしてもらって、うれし泣きをしている加藤さんの写真がありました。加藤さんの最高の思い出になったらいいな、と思う一枚の写真でした。(竹平)

私が加藤さんとの思い出の中で、一番印象に残っているのが、メゾン・ド・歩人で石川県に旅行に行った際の出来事です。当時の加藤さんは、認知症が進行し始めており、人物を忘れてしまったり、今自分がいる場所がわからなくなって不穏になってしまう事がありました。

そんな中で迎えた旅行だったのですが、加藤さんはとても穏やかでした。夕食を石川駅付近の中華料理屋さんで食べた時に、加藤さんの誕生日プレゼントに読売ジャイアンツのグッズを渡したのですが、加藤さんが泣いて喜んでくれたのです。「ありがとう、ありがとうございます」と繰り返してくれました。私も一緒に泣いてしまいました。あの時の加藤さんの笑顔が、私は一番好きです！

短い間でしたが、加藤さんと共に時間を過ごせた事を感謝します。(一之木)

# 相談支援エプシロン

Tel 042-505-7021 Fax 042-505-7669

## 秋の景色に学ぶ

朝、いつもより少し遅い時間に家を出て、急げ急げとお互いに急かしながら、息子と一緒にバス停に向かいます。支援学校高等部二年生の息子、現場(職場)実習真っ只中。

親子で慣れない路線バスに乗り、三つ目のバス停で降りて、そこから徒歩20分。今まで知らなかった道を、時間を気にしながら、早歩きで進みます。夏の名残の暑さで、リュックを背負った息子の背中汗でびしょ。実習先の事業所に着くと、職員の方が濡れた背中に直ぐに気付いて、予備のTシャツに着替えるよう、息子に声をかけて下さいました。

午後のお迎えの時間。皆さん優しく声をかけて下さり、二日間しか通っていないのに、すっかりリラックスした表情の息子は、ご機嫌で挨拶をし、実習先を後にしました。



息子さんが選んだドングリ

朝と違い、ゆったりとした気持ちで歩く帰り道。

大きな公園の、ぬかるんだ道を、足元を気にしながら歩いていると、落ちている大小様々なドングリに目を奪われました。この、まん丸で大きいのはクヌギ? こっちは緑で細長い、椎の実かな? と、少しワクワクしながら歩いていたら、公園の中でちょっと迷いました。

同じ道を通っても、時間帯や一緒にいる人、その時の気持ちによって見える景色が違うことに気がきます。気持ちに余裕がある時、ひとりぼっちに感じる時…。似た状況の中でも、不思議と感じる空気も違います。

エプシロンで、いろいろな方のお話を伺う中で、しばしば思うことは、私自身の物の見方がいかに狭く一方的か、時に独りよがりではないか。そう考え出すと、急に道を失い、うずくまって動けないような感覚になります。

そんな時は、少し顔を上げてみたり、一緒に歩いてくれる人を探したり、寄り道をしたりして、違う景色を探したいと思います。遠回りや迷子になることもあります。違う景色に救われることがたくさんあるなあと、実感しています。

息子の送迎の疲れに、どっぷり浸かってしまいそうな時も、少し目線を変えて、秋の公園を味わって歩きたいと思います。(吉埜)

## 居宅介護等事業・訪問介護事業 **くじらハウス**

Tel 042-505-7034

ったのが、プレゼントに用意していた、ハズキルーペです。「体重が軽い皆さんは、お尻に敷い

### 短期入所 **おにぎり**

Fax 042-505-7035

## 世界共通語と父の誕生日会



皆さんは、世界共通語という何語を想像しますか? 英語でしょうか? 当時中学生だった自分は英語が嫌い、全世界の言葉が共通だったらなあ〜と思いながら、世界共通語、とネット検索をしたところ、世界共通語のエスペラント語を見つけました。エスペラント語は、ルドヴィゴザメンホフと、その弟子らによって作られた言葉で、母語の次に話してもらえれば、との考えで作られた人工言葉のようです。もし広まっていたら、今よりもっと良い世界になっていたのかなあ〜と想像してしまいます。

話は変わりますが、コロナが広まる少し前に、父の誕生日会がありました。自分と父以外、皆、様々な国の方々で、コミュニケーションを取るきっかけに役立

ても大丈夫」「体重が重い自分は、bad」を、ジェスチャーで表現、まあまあ笑いが起きたのです。皆と仲良くなったところで、食後にゲームをすることになりました。

トランプのババ抜きをジェスチャーで説明して、ゲームスタート。負けた人は、罰ゲームで母国の国家を歌うことになりました。最初にわざと負けて、父と肩を組み、君が代を熱唱。気分はまるで日本代表でした(笑)。

その勢いでババ抜きは盛り上がり、負けた人がそれぞれ国歌を熱唱。国歌もいろいろあり、ノリの良い国歌、しんみりした国歌、やたら長い国歌、様々でした。

ここ最近、戦争の暗い話ばかりです。戦争で命を落とすことのない、ババ抜きみたいなゲームや、スポーツでの対戦の方が、よっぽど平和的なのに…(-.-)

(竹平)

## 誰もが集えるみんなの居場所

(当面の開所時間 平日 12時~15時 (以降、日中一時支援事業))

日中一時支援事業 (当面の開所時間 土曜 12時~17時)

## たまりば宙 (そら) Tel/Fax 042-843-0443

### お孫ちゃんラッシュ



この夏、宙ではお孫ちゃんの誕生が続きました! 7月に荒木さんの娘さんが男の子を、9月に私の娘が女の子を出産しました。

母になった娘は、思春期を迎えた中学生の頃から、

私の事を「ママ」、から「おば」「おばちゃん」と呼ぶようになりました。最初は、おばさんじゃないわ、と、ムカッ! としましたが、いつの間にか慣らされて、あたりまえになりました。「おばさん」から「おばあちゃん」になっても変わらず「おばちゃん」ですか? 娘よ、あなたからそう呼ばれる事は、案外悪くないです。

わずか10カ月の間に、両親の死と、孫の誕生を目の当たりにし、人の一生、生命とは、なんて尊いのだろうと改めて感じました。それにしても孫はかわいい! とにかくカワイイ!! (石井)

放課後等デイサービス

# くじらっこ

Tel/Fax 042-505-4661

## 愛と理解に感謝を

私の実家は(個人)農家です。



届けてくれた  
パッションフルーツ

両親は一年を通し色々な野菜や

果物を育てています。そのおかげで食卓は彩豊かになり、旬の新鮮な野菜をたくさん食べる事ができています。父のすごいところは、私が何気なく「〇〇食べたいな〜」と口にしたものや、母

の身体に健康な食材と知ったもの等を、次の年には作



茹でたてのジャガイモを  
食べる子ども達

ろりとチャレンジしてくれるところ  
です。その一つが写真にあるパ  
ッションフルーツです。今年は  
豊作だったらしく、満面の笑み  
でこのパッションフルーツを届けてくれました。



お気に入りのパッション  
フルーツヨーグルト

両親は、私の仕事に対しても理解が深く、子ども達に喜んでもらいたいと、サツマイモ掘りができるよう毎年たくさんのサツマイモを育ててくれたり、茹でたてのジャガイモや手作りのブルーベリーアイスを振舞ってくれたりします。帰省した際には、自然と子ども達の話や仕事の話をする事が多く、子ども達の成長と一緒に喜び見守ってくれています。家族・娘への愛情だけでなく、繋がる皆へ、たくさんの優しさや愛情を向けてくれる両親を誇りに思いますし、私もそんな大人になりたいと心から思います。(宮崎)

生活介護事業所

# くじら工房

Tel/Fax 042-843-3450

## たくさんの好きな光景

個人的な話になりますが、利用者さんとの関係に悩んでいた僕を変えたタイミングを、いくつか紹介いたします。12月入職の(つまり新人の)頃、先輩スタッフのHさんと利用者さんと話をしていた時、Hさんがその利用者さんに「五明田さんを一言でいうと？」と尋ねました。利用者さんは一言「うるさい」と、いたずらっぽい笑顔で僕を見ました。その時から、お互い笑顔が増えました。きっかけをくれたのはHさんの、その一言でした。

見てね!

くじら工房 Instagram



また、先輩スタッフのMさんと、別の利用者さんとの会話を聞いていると、思わず笑っている自分に気づきます。それは、そのお二人の信頼関係だからこその会話で、とても微笑ましいものです。また、僕より少しだけ先に入職されたスタッフのKさんと、やはりまた別の利用者さんが会話している時には、利用者さんが、こんなにもキャピキャピと楽しそうなんだ!と、毎回感動しています。それも、お二人の関係だからこその、素敵な笑い声です。

介護業界のいくつかの法人を経て、今はかいゆうにお世話になり、くじら工房にいますが、わずか半年で自分の好きな光景がたくさんあることに気がきます。これからもっと増えそうで、楽しみです。まだまだ新人で未熟な私ですが、どうぞよろしくお願ひ致します。(五明田)

## Group Home

### ミラハウス

### 『らしく』の狭間

『あと10年もしたら、君はとっくにサラリーマンを辞めて、おまけにタバコも止めて、酒もほとんど飲まなくなっていて、週に何度も朝帰りするかわりに、息子と総合格闘技のジムに行って汗を流してるよ。』

2012年の自分にそう伝えても、きっと全然信じなかったはず。その当時は、出来るビジネスマン気取りで都心をイキって闊歩していたものです。(注1:本当に出来る人達というのはそんな振舞をしません)

いいスーツを着たり、むやみに高い店に上司に連れて行ってもらったり、部下を連れて行ったり、そこかしこで大物ぶったり、そういうことが『自分らしく』生きることだと思っていたんです。それがどうしようもない小物であることの証明なのにさ。バカだねえ。じつにバカだね。(注2:ドラえもんの名言)

今、当時を振り返ってみると、あの時あれほど自分らしく生きていたと思っていた時間が、全然自分らしくなかったと思えないんです。きっと、随分と無理をしていたんでしょうね。むしろ今の方が、より強く『自分らしく』思える。何より、断然に幸せです。

皆さんは、『らしく』ということについて考えたことがありますか? 8月にミラハウスに異動してから、『らしく』ということについて随分とあれこれ考えています。

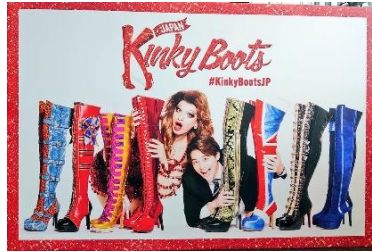
あなたが考える『自分らしく』が、他の誰かから見た『あなたらしく』と同じではないように、『かいゆうらしく』ということもまた、私とあなたでは考えが違うかもしれない。実は、それぞれの『らしく』にはかなりの隔たりがあるのかもしれない。だけどその狭間をずっとずっと辿って行ったら、いつかはどこかで繋がって、それが『かいゆうらしく』あることの大きな輪郭になるのかもしれない。

だから、迷わず行けよ、行けばわかるさ!(注3:アントニオ猪木)(酒井)

## はじめの一步ハウス

### 受け入れるということ

先日、ミュージカル「キンキーブーツ」を観てきました。イギリスの田舎町で、傾きかけた父親の靴工場を引き継いだ主人公が、ひよんなことから知り合ったドラッグイーンと、男性が履いて踊っても壊れないような、丈夫で、かつセクシーなブーツを作ろう！と、タッグを組むというお話です。テーマの一つに「あるがままの他人を受け入れること」というものがあります。そして、そのためには自分の内面とも向き合い、自分自身を受け入れ



ることが必要です。

現実はお芝居のように、皆で歌って踊って全てが上手くいく、なんて奇跡のようなことはなかなか起こりませんが、それでも一人一人が自分の事も、他人の事も受け入れ、違っていても

いいんだよって思えたら、世界は少しずつ良くなるのでは、という希望を持てるような素敵な舞台でした。

そして、シンディローパーの音楽がめちゃくちゃ格好いいので、機会があったら是非！（ブロードウェイ版が映画にもなっています）

（坂野）

## メゾン・ド・歩人

### ロードバイクの魅力

私は休日に一人の時間があり、天候も良い時はロードバイク（スピードが出る自転車）で出かけます。目的は、行った事のないラーメン店を目指して。ロードバイクに乗り始めて日が浅く、まだ長くても往復60キロくらいしか走っていません。

ロードバイクにハマったのは、スピードが出る爽快感でしょうか。バイクも乗っていましたが、冬はスノーボードもしますが、速さを体感するのが好きなようです。

また、自分で部品を交換しやすいのも理由の一つです。ネットで何が良さそうか情報を調べて、周りの人に話を聞いて、気に入った部品を少しずつ取り替えていくのも楽しみの一つです。

実は自転車って、ほとんどが消耗部品なんです。使っていると、部品の多くを交換していきます。そして、どんどん新しい技術も投入されて、少しずつ進化しています。最近では、ギアの変速も電動化の流れになっています。

人力で漕ぐというのはシンプルですが、そこにいろいろな技術が加わり、たくさんの人を魅了しているのだと思います。（中山）

## 来歩ハウス

### 大切な時間

4月から、来歩ハウスの遅番を週一回勤務させて頂いております。以前、かいゆうに勤めて来歩ハウスに所属していた時から8年が経ち、また入居者の皆さんと顔を合わせる機会が出来たのは本当に感謝しています。ありがとうございます。

変わらない雰囲気と笑顔、歳を重ねて変わってきた入

居者の方々の様子を、味わいながら勤務しています。Nさんとオセロをしたり、Eさんと会話をしたり、温かい時間を過ごすことができ幸せです。

コロナ禍の日常生活での、入居者の方々の順応性やスタッフの工夫に理解したり感心しつつ、少しずつ外出したり、お楽しみの時間が増えるといいなあと期待しています。

皆が元気で楽しめる日常が続きますようにと願いながら、自転車を走らせて来歩ハウスを往復する日々です。これからもよろしくお願い致します。（下ノ原）



## すうえる

### 料理も趣味に

GHに勤め始めて、職場で夕食を作ることが多くなり、今では料理が楽しく、プライベートでも作る事が多

くなりました。特に成功や失敗、味へのこだわりはありませんが、いろいろな料理に挑戦してみたいなと思っています。

この仕事を始めて、新たな発見ができたのは良いことだなと思いました。（大植）



## とれいる

### 夜長の過ごし方

私は、晩酌をするのが好きですが、特に好きな音楽、好きなお酒（スコッチウイスキー）と過ごす時間を大切にしています。

ムダな事を考えず、短い時間ではありますが就寝前



の贅沢と思ひ。スマホは気にせず、ゆったりとした時間を過ごす。日々の仕事等で相手のペースに合わせる事が多い中、自分の時間に戻る感覚です。

昔から聴いているのは、Marlena Shaw（マリーナ・ショウ）の Feel Like Makin' Love と Grover Washington Jr（グローヴァーワシントンジュニア）の Just The Two of Us です。あ〜、また音と酒に溺れなくなってきました。笑

（佐々木）

昨年の全体研修がかいゆう初の完全オンラインとなったことで、法人に激震が走った記憶は新しく、直後のかいゆうだよりの記事でも特集並みに取り上げられています。企画する側としては、半日の短い時間で必要な知識を伝えることの難しさに悩みつつ、少しでも豊かな学びの機会を創れるように、私自身も多くの研修やネットワークに参加しながら、知識だけではなくプログラム構成などを学んでいます。

さて、今年は思い切って午前午後2コマの講座をハイブリッド開催(会場オンライン併用)にて実施しました。

『コンピテンシー』は、福祉職



午前の部

にと  
つて  
聞き

なれない言葉ですが、企業の人材活用に用いられる手法で、【職務や役割において優秀な成果を発揮する行動

2022年10月2日(日)  
@東京YMCA 医療福祉専門学校  
【午前】  
障害福祉施設における防火・防災対策について  
(基礎講座)  
講師：立川消防署 予防課  
【午後】  
コンピテンシー研修  
～かいゆうの仕事の価値を知る～  
講師：阿部美樹雄氏  
(社会福祉法人みずき会 理事長)

## スタッフ 全体研修報告

特性】と訳されています。

私は、福祉に生産性を求めることには批判的な立場ですが、完璧に整理できなくても、支援を可視化・言語化する姿勢は大切だと思っています。

うんうんと深く頷きながら聞き入る姿や、職員同士が活発に意見を交わし合う様子を目の当たりにしながら、来年も頑張ろうと励まされる時間でした。

た  
く  
さ  
ん  
の  
方  
の  
ご  
協  
力  
に  
よ  
っ  
て  
全  
体  
研  
修



午後の部

を開催できたことに感謝しながら、また来年度の企画を考えていこうと思います。

(企画室/池田)

## かいゆうの社会保険労務士さん

### ねごろ りゅうげん 根来隆元さん

こんにちは。88社会保険労務士・行政書士事務所の根来隆元と申します。5月より、かいゆうさまの顧問社労士を務めさせていただいております。加えて宅建士、FP、キャリアコンサルタント、賃貸不動産経営管理士でもあります。同時に25年ほど府中市で塾も運営しており、教育をベースにした士業だと自負しております。

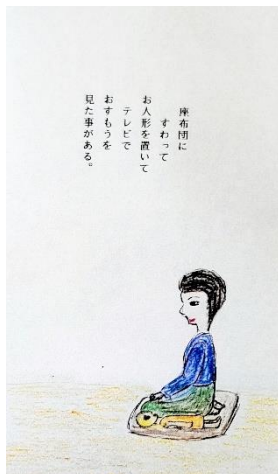
相談しやすい距離感というのは士業においても塾においても何ら変わりなく、それでいて何より重要だと考

えております。意を決して相談するのではなく、興味本位で相談いただけるような存在になれば光栄です。

これからよろしくお願ひします。



座布団に  
お人形を置いて  
おテレビで  
おすもうを  
見た事がある。



萩から かまぼこが  
とどいた日  
かぶりついたまま

## ポニー水上自伝 3 もめんのよう



### 『もめんのよう』作品紹介

1990年頃から30年にわたって、ポニー水上が自らの半生を絵と文で表現した作品集。昨年製本され、上巻・下巻の二冊からなる。昭和の時代に逞しく生きる姿に、心を打たれる読み応えたっぷりの作品。

# かいゆう人語

かいゆう企画室の池田です。

私が企画室を担当するようになって早2年。今回の寄稿に際し、『かいゆう人語』の前回記事を読み返してみました。企画室の事には一切触れていなかったの、3年目も半ばに差し掛かるタイミングでこの2年間を振り返りながら、アウトプットする機会をいただいた気がしています。さて、うまく言語化できるでしょうか。

## ■bumPo の開業

2020年7月、『bumPo～伴歩～』という屋号(やごう)で開業しました。『bumPo』は『bump』:ぶつかる、衝突する、瘤(こぶ)などという意味で、【bump】+【歩】=bumPo(ばんぽ)と読みます。アルベール・カミュ(フランスの小説家/哲学者)の言葉を思い浮かべながら、伴走(走る)ではなく、伴奏(副旋律として)、伴創(ともに創り出す)をイメージし、それぞれのペースで歩むという事の傍らで何ができるのかを考えることができたらと思い名付けました。



※bumPo ロゴ  
(デザイン:合同会社三角舎  
加藤健介氏)

私は、ずっと法に守られた(縛られた?)福祉の領域で

仕事をしてきましたが、四十歳になったタイミングで、雇用されるという働き方から離れ、もっと多様な福祉、医療、地域社会に触れ、学びながら、組織の外側から対人援助の現場が元気になる支援者支援の取り組みを考えたいと思ったのが起業のきっかけでした。

企画室を担当したと同時に、八王子にある診療所で医療ソーシャルワーカーや講師業のほか、2021年6月からは、最近時々かいゆうだよりの記事でも登場する『NPO 法人成年後見ウィル』の後見人など、フリーランスのソーシャルワーカーとしてたくさんの出会いに恵まれながら、時折コブ(bump)につまづいて転んでは、自らを鼓舞して立ち上がる毎日を送っています。

企画室にたどり着きませんでしたでしたが、活動の一部は全体研修の記事にて触れていますので、是非ご一読ください。

(企画室/池田希咲)



旧国立駅舎のイベントにてゲストトーク  
株式会社シンクハピネス  
代表 糟谷明範氏と



お多肉さま日記NO8 今回はお多肉様の不思議についてご紹介いたします。それは「綴化」(てっか)という現象についてです。本来は多肉の成長点(頭のところ)は1つの点なのですがその点が線状になって繋がってしまった現象のことを言います。見た目がかなり不思議ちゃんになるため好き嫌いが分かれますね( ^ω^ )・・・私は好きです!

ふつうはこんな感じ  
※桃太郎



線状に  
つらなっています。  
※アリエル綴化



見た目が変でもなんでかわいく見えてしまうのは私だけでしょうか??個性が際立って何か惹き付ける魅力を感じますね~

秋も深まり多肉たちも紅葉が始まっています。これからますます楽しい季節ですね~  
小野肉 多呂子



白く季節斑が入る  
パラグアイ  
エンセ



葉の淵が色づいてきた  
ルエラ



## ★職員の入退職★

入職	梶 一樹	2022. 9. 15
	伊東 吉次	2022. 11. 1
退職	中村 昌則	2022. 9. 30

見てね!  
ホームページ

